

第291回柏崎地域早期景気観測調査 報告書

— 令和6年2月期 —

【インデックス】

- 1 全産業(P.2)
- 2 建設業(P.3)
- 3 製造業(P.4)
- 4 卸売業(P.5)
- 5 小売業(P.6)
- 6 サービス業(P.7)

【調査方法】

会員企業1社に対して、毎月下旬に【業況】【売上】【採算】【資金繰り】【仕入単価】【従業員】【資金借入難易感】の7項目について「前年同月比」（※従業員DIについては本期水準）および「向こう3カ月の先行き見通し」の調査を依頼、翌月上旬までに寄せられた回答を集計し、その結果をDI値で表します。

DI値は、実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを含みます。

【DI値とは】

DI値（景況判断指数）とは、「増加・好転」などの回答割合から「減少・悪化」などの回答割合を引いたもので、景況感の方向、強弱を示します。

【業況】…「好転」-「悪化」 【売上】…「増加」-「減少」
【採算】…「好転」-「悪化」 【資金繰り】…「好転」-「悪化」
【仕入単価】…「下落」-「上昇」 【従業員】…「不足」-「過剰」
【資金借入難易感】…「容易」-「困難」

【調査対象業種】

建設業 総合工事業、設備工事業、職別工事業
製造業 鉄鋼・金属製品・機械器具製造業、食料品・印刷・窯業・土石製品製造業
卸売業 建材・鉱物・機械器具卸売業、飲食料品・衣服等卸売業
小売業 飲食料品小売業、衣料・身の回り品・その他小売業
サービス業 宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業

【調査対象数・回答状況】

業種	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全産業
調査対象数	39	45	27	26	35	172
回答数	23	28	14	11	21	97
回答率(%)	59.0%	62.2%	51.9%	42.3%	60.0%	56.4%

<移動平均分析>

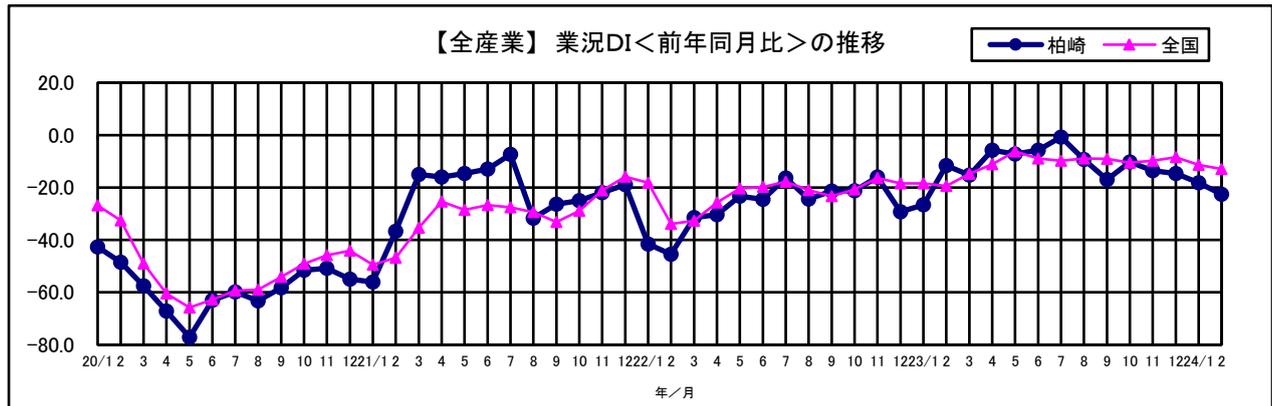
時系列データで見た場合、データの変化が激しく、基本的な変化の傾向がつかみにくいことがあります。移動平均という方法を用いることにより、データ全体の変化の傾向を解析することができます。

ここでは、業況・売上・採算の三項目について、当該月を含めて過去6ヶ月分の平均値を連続的に求め、グラフ化しています。

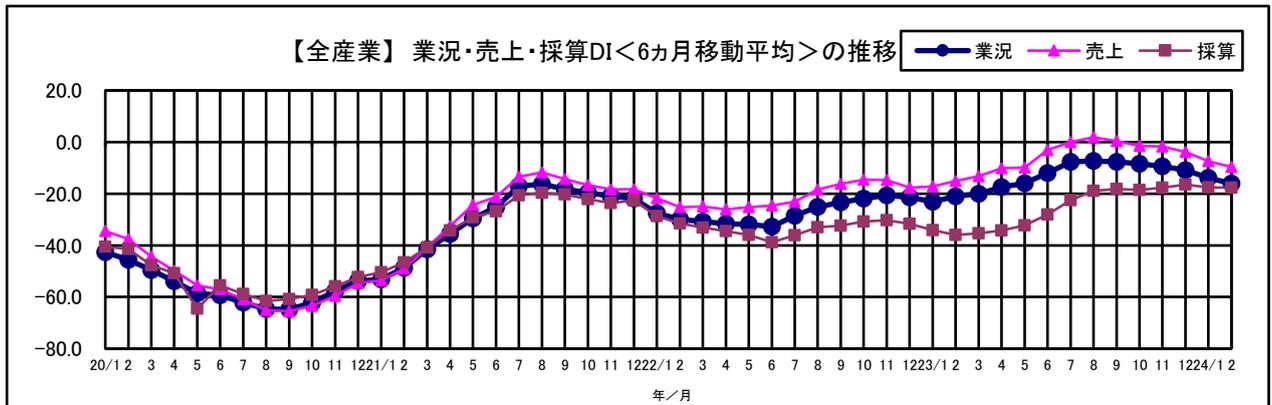


◆概況(全産業合計)

項目		23年9月	23年10月	23年11月	23年12月	24年1月	24年2月	先行き見通し 3月~5月
業況	柏崎	▲17.0	▲10.3	▲13.5	▲14.6	▲18.2	▲22.6	▲14.0
	全国	▲9.0	▲10.5	▲9.7	▲8.4	▲11.4	▲12.9	▲13.6
売上	柏崎	▲9.5	▲7.6	▲11.5	▲2.9	▲15.6	▲10.9	▲11.4
	全国	4.9	4.5	4.2	3.3	▲0.1	▲0.9	▲2.4
採算	柏崎	▲22.4	▲16.4	▲14.8	▲12.5	▲18.6	▲21.5	▲15.9
	全国	▲13.3	▲12.7	▲12.0	▲10.6	▲13.3	▲13.8	▲13.4
資金繰り	柏崎	▲9.9	▲10.4	▲9.1	▲3.7	▲5.0	▲10.3	▲13.9
	全国	▲11.8	▲12.0	▲11.7	▲9.3	▲11.0	▲10.8	▲10.7
仕入単価	柏崎	▲73.6	▲63.8	▲64.7	▲65.2	▲59.9	▲68.1	▲62.4
	全国	▲69.6	▲67.4	▲66.8	▲65.0	▲59.6	▲60.8	▲49.3
従業員	柏崎	17.6	17.7	18.7	23.3	15.6	24.1	28.0
	全国							22.0
資金借入難易感	柏崎	▲1.0	▲3.8	▲5.1	4.1	▲0.1	0.3	2.0



<移動平均分析(全産業)>



【2月期全国全産業の動向】

●全産業合計の業況DIは、▲12.9(前月比▲1.5ポイント)

・小売業は、消費者の買い控えは継続するものの、好調な百貨店がけん引し、改善した。サービス業は、飲食・宿泊業を中心にインバウンド回復の恩恵を受けるも、人手不足やコスト増が下押し、ほぼ横ばいとなった。建設業は、公共工事が下支えするも、資材価格の高止まり等で力強さを欠いた。また、製造業は、企業のコスト負担増による設備投資の足踏みを受け、機械器具関係等の需要減で悪化し、卸売業でも、これらの需要減による取引減少で悪化した。

・物価が高止まりする中、円安や人材確保に向けた賃上げ等、コスト増が重荷となっている。深刻な人手不足や価格転嫁等の構造的な課題も山積しており、中小企業の業況は悪化が続いた。

●先行き見通しDIは、▲13.6(今月比▲0.7ポイント)

・新年度を見据えた人流の増加による個人消費の拡大や、企業の新たな設備投資等の取組みへの期待感がうかがえる。

・一方、深刻な人手不足による受注機会の損失や、長引く物価高による買い控えの継続など、国内需要の停滞が懸念される。コスト増が継続する中、持続的な賃上げに向けた労務費を含む価格転嫁の推進や生産性向上、人材確保などの対応すべき課題が多く、先行きは慎重な見方となっている。

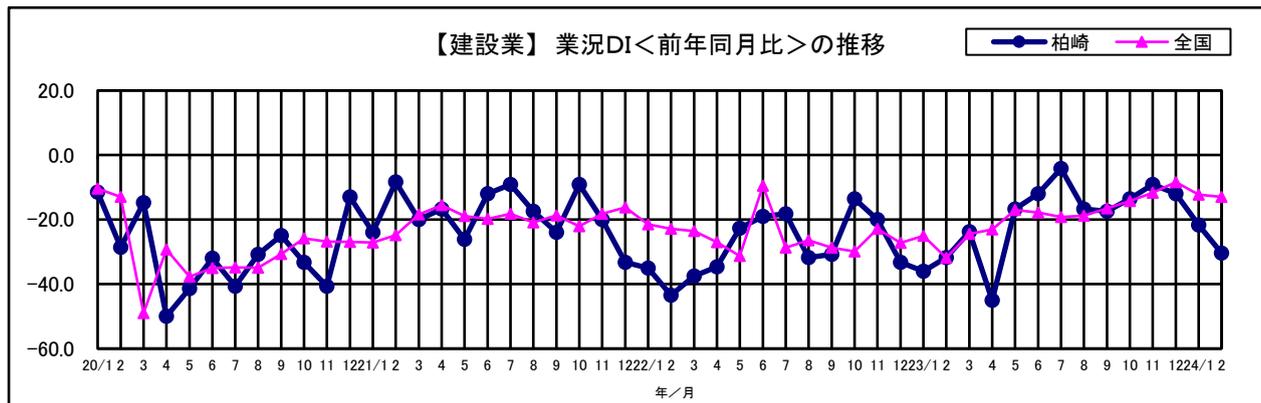
【2月期柏崎全産業の動向】

売上DIは改善がみられたが、仕入単価・採算DIの悪化により、業況DIは悪化。

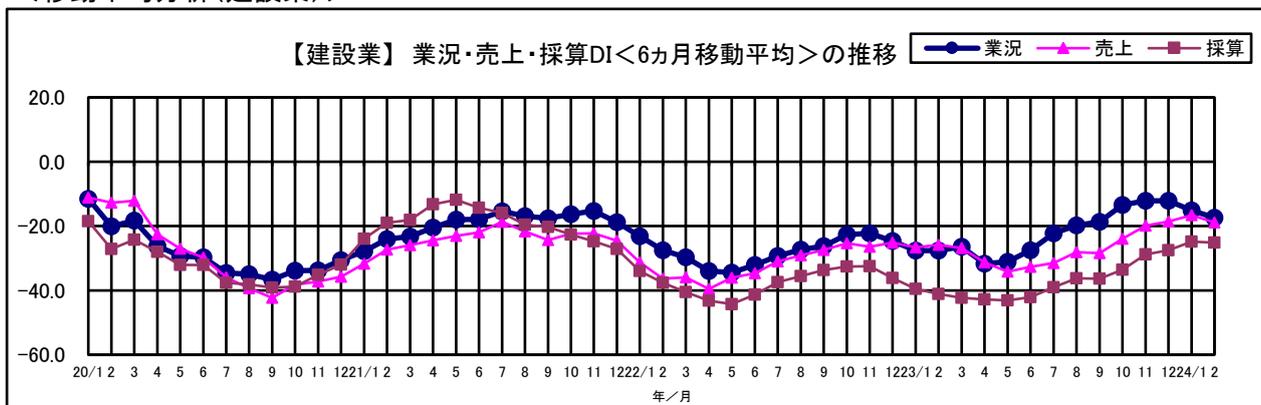
先行き見通しの業況DIは改善が予想されるが、各産業、年度末が近づいてきたこともあり、生産調整による減産や来年度の仕入価格、スケジュールなどを不安視する声が聞かれた。

【建設業】

項目		23年9月	23年10月	23年11月	23年12月	24年1月	24年2月	先行き見通し 3月～5月
業況	柏崎	▲17.4	▲13.6	▲9.1	▲12.0	▲21.7	▲30.4	▲26.1
	全国	▲16.5	▲14.3	▲11.7	▲11.0	▲12.3	▲13.0	▲13.7
売上	柏崎	▲30.4	▲18.2	▲9.1	▲8.0	▲13.0	▲34.8	▲17.4
	全国	▲5.7	▲6.7	▲2.9	▲3.8	▲6.1	▲3.3	▲7.5
採算	柏崎	▲39.1	▲18.2	▲9.1	▲32.0	▲17.4	▲34.8	▲26.1
	全国	▲24.1	▲19.7	▲14.9	▲16.6	▲18.8	▲20.2	▲16.6
資金繰り	柏崎	▲17.4	0.0	▲9.1	▲8.0	0.0	▲8.7	▲17.4
	全国	▲8.6	▲6.4	▲6.1	▲3.8	▲7.1	▲6.5	▲5.9
仕入単価	柏崎	▲56.5	▲40.9	▲59.1	▲56.0	▲65.2	▲60.9	▲69.6
	全国	▲73.3	▲72.9	▲72.8	▲71.2	▲68.0	▲70.0	▲60.6
従業員	柏崎	47.8	45.5	36.4	52.0	39.1	47.8	56.5
	全国							35.8
資金借入難易感	柏崎	▲4.3	4.5	4.5	12.0	0.0	4.3	0.0



<移動平均分析(建設業)>



【全国建設業の動向】

住宅関係の民間工事の不振や建築資材価格の高止まりによるコスト増は継続しているものの、底堅く推移する公共工事が下支えし、ほぼ横ばい。

<日本商工会議所に寄せられた声>

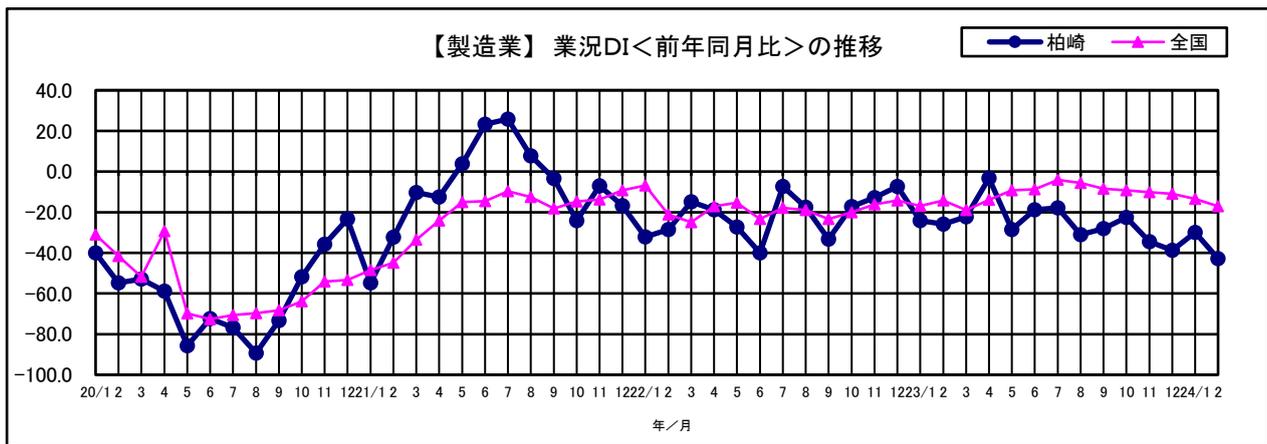
- ・「技術者などの専門人材の不足が続いている中で、4月から施行される働き方改革関連法にどのように対応していくかが大きな課題である。社員教育による底上げを行うとともに、生産性向上に向けたデジタル導入などを検討する」(一般工事業)
- ・「大型案件の受注ができたが、資材価格の高騰で先出しする資金が増えており、資金繰りの見直しが必要である」(大工事業)

【柏崎建設業の動向】

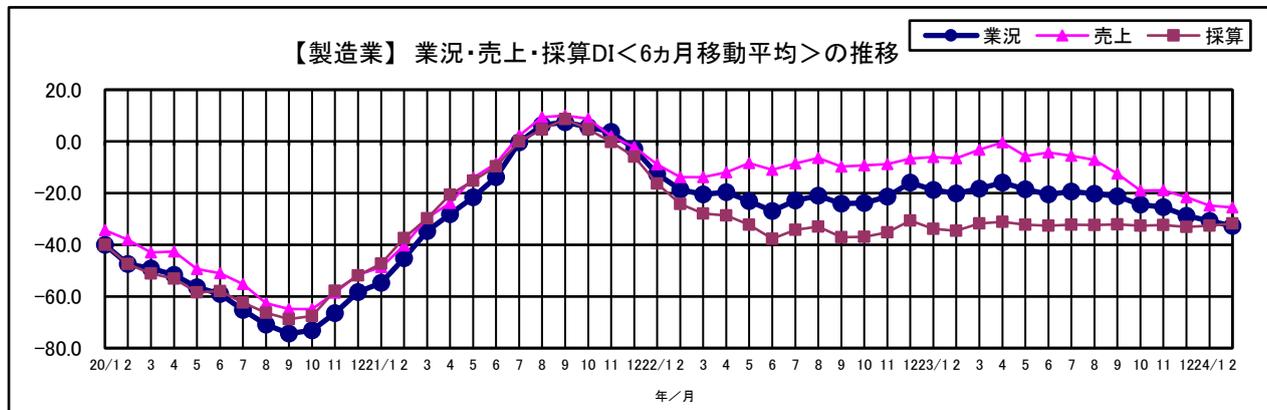
業況・売上・採算DIは前月比で悪化がみられた。2024年に入ってから業況DIは悪化傾向にあり、総じてトレンド・方向性を示す移動平均分析では、やや下降気味に推移している。

【製造業】

項目		23年9月	23年10月	23年11月	23年12月	24年1月	24年2月	先行き見通し 3月～5月
業況	柏崎	▲28.0	▲22.6	▲34.5	▲38.7	▲30.0	▲42.9	▲32.1
	全国	▲8.5	▲9.3	▲10.2	▲8.1	▲13.4	▲17.0	▲15.8
売上	柏崎	▲32.0	▲22.6	▲27.6	▲19.4	▲26.7	▲25.0	▲25.0
	全国	5.7	7.1	5.8	3.4	▲1.8	▲5.1	▲2.8
採算	柏崎	▲32.0	▲22.6	▲34.5	▲32.3	▲36.7	▲32.1	▲21.4
	全国	▲12.5	▲9.3	▲11.2	▲10.3	▲13.8	▲15.2	▲13.5
資金繰り	柏崎	▲12.0	▲9.7	▲10.3	▲9.7	▲3.3	▲21.4	▲17.9
	全国	▲13.3	▲11.8	▲13.4	▲9.9	▲10.0	▲14.5	▲11.7
仕入単価	柏崎	▲84.0	▲64.5	▲69.0	▲71.0	▲50.0	▲53.6	▲60.7
	全国	▲66.3	▲64.1	▲64.5	▲59.8	▲49.9	▲52.3	▲37.8
従業員	柏崎	12.0	0.0	0.0	6.5	3.3	3.6	▲10.7
	全国							11.7
資金借入難易感	柏崎	8.0	0.0	3.4	6.5	10.0	0.0	3.6



<移動平均分析(製造業)>



【全国製造業の動向】

円安による輸入部材価格の高騰や電気代の高止まりが続く中、企業のコスト増による設備投資の足踏みで一般機械器具や精密機械器具等の受注が減少する他、建築資材関係の需要低迷が続き、悪化。

<日本商工会議所に寄せられた声>

- ・「コスト増の影響で市場の動きが鈍い中、取引先が年度末の在庫調整に入り、受注数が大幅に減少している。コロナ禍からの挽回生産で生産量を増加させていたが、想定よりも売れ行きが良くなく、在庫過剰な状態である」(金属加工機械器具製造業)
- ・「売上が伸び悩む中、労務費や仕入価格が上昇しており、価格転嫁も十分に追いつかず、経営に重くのしかかっている」(建築用金属製造業)

【柏崎製造業の動向】

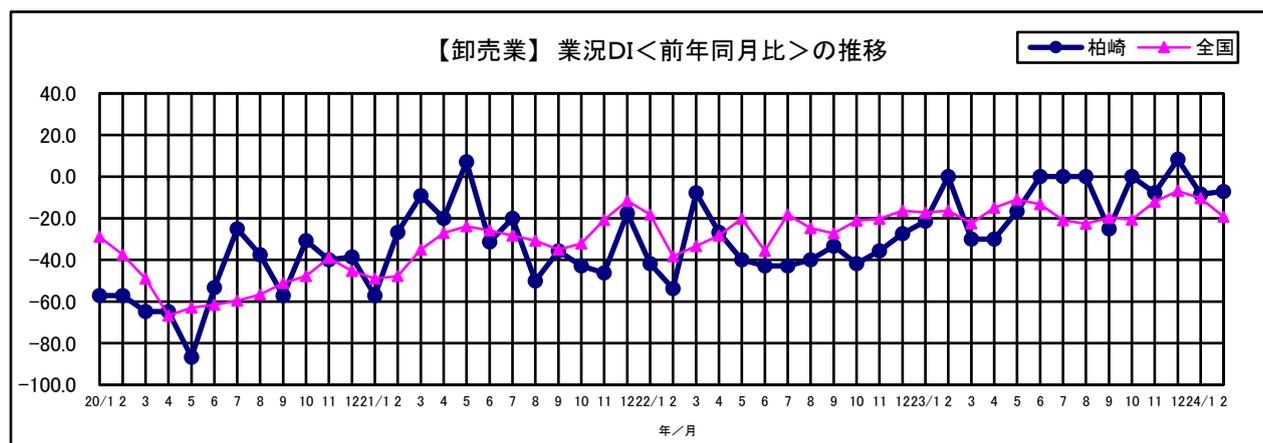
受注量の減少や生産調整による減産といった声がきかれた。資金繰りDIは前月比で▲18.1ポイント悪化。売上・採算DIは前月期から大きく変動はないものの、業況DIは悪化しているため、停滞感があるといった声が聞かれることから景況感は芳しくない。

<柏崎商工会議所に寄せられた声>

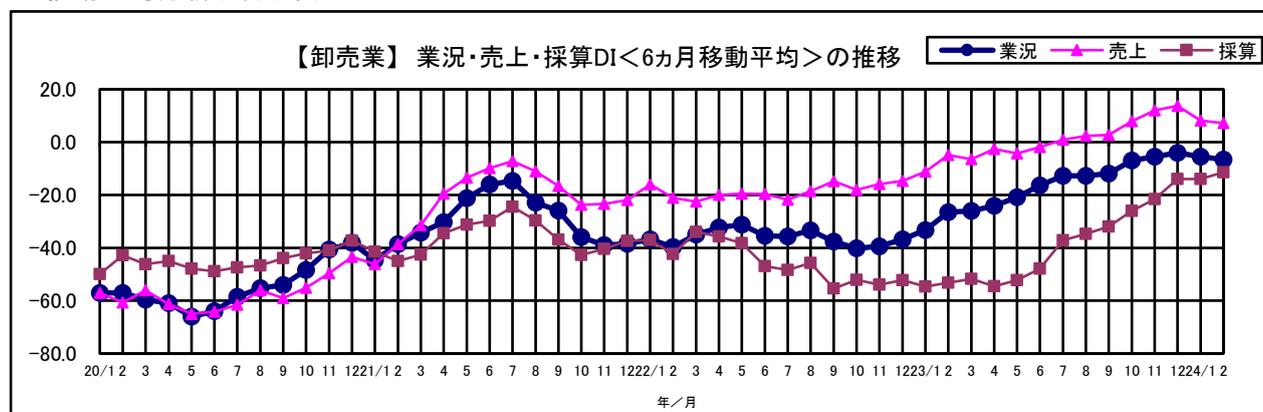
- ・受注量の減少が出ている。ユーザーの事情で納期が先に延びたものもでて、停滞感あり。
- ・生産調整による減産で業況が厳しいが、春の昇給をせざるを得ず、一層苦しい状況。

【卸売業】

項目		23年9月	23年10月	23年11月	23年12月	24年1月	24年2月	先行き見通し 3月～5月
業況	柏崎	▲25.0	0.0	▲7.7	8.3	▲8.3	▲7.1	0.0
	全国	▲19.7	▲20.6	▲12.0	▲6.9	▲10.4	▲19.2	▲23.3
売上	柏崎	▲8.3	21.4	7.7	25.0	▲16.7	14.3	7.1
	全国	▲2.6	▲5.9	6.5	5.5	1.4	▲4.6	▲6.8
採算	柏崎	▲33.3	▲14.3	▲23.1	16.7	0.0	▲14.3	▲14.3
	全国	▲15.9	▲12.6	▲13.4	▲5.0	▲14.5	▲15.5	▲20.1
資金繰り	柏崎	▲25.0	▲14.3	0.0	0.0	0.0	7.1	▲7.1
	全国	▲8.6	▲7.6	▲9.2	▲6.4	▲7.2	▲10.0	▲13.7
仕入単価	柏崎	▲75.0	▲57.1	▲61.5	▲50.0	▲33.3	▲71.4	▲57.1
	全国	▲68.2	▲64.7	▲63.1	▲60.1	▲56.1	▲59.8	▲49.3
従業員	柏崎	16.7	14.3	30.8	25.0	25.0	21.4	21.4
	全国							15.1
資金借入難易感	柏崎	▲8.3	▲7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1



<移動平均分析(卸売業)>



【全国卸売業の動向】

輸送費や包装資材価格が高止まりする中、住宅関係の不振で引き合いが弱い建築資材関係や、企業の設備投資の停滞に伴う一般機械器具等の企業間取引の減少で、悪化。

<日本商工会議所に寄せられた声>

- ・「価格転嫁は順次対応が行えているが、取引そのものが減少しており、業績は悪化している。加えて、人手不足も深刻で、事業継続に向けて社内の若返りを図りたいところだが、原資が確保できない中で賃上げや福利厚生の実施は難しいため、採用が進まない」(一般機械器具卸売業)
- ・「住宅需要の低下により、引き合いが減少している。仕入単価も高止まりをしており、利益の確保が難しい」(建築材料卸売業)

【柏崎卸売業の動向】

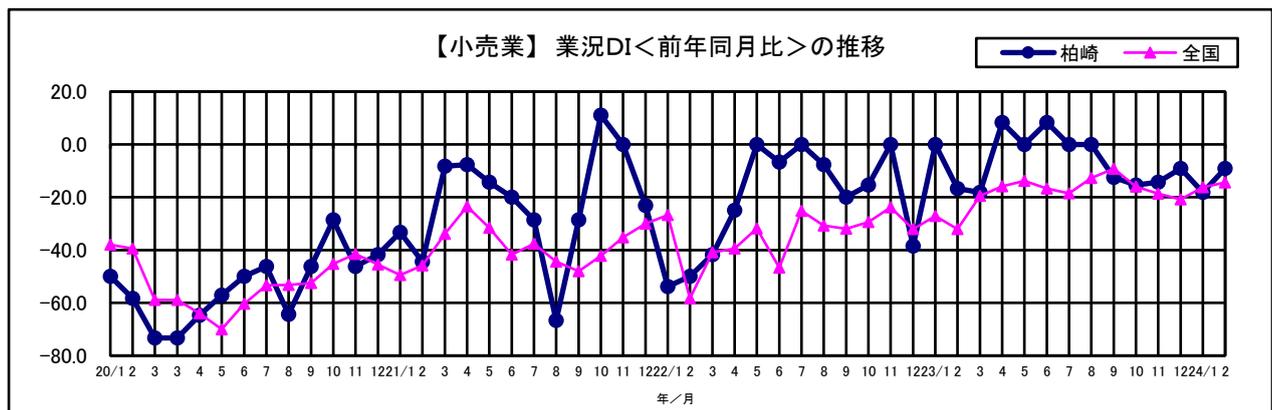
売上DIは前月期のマイナス域から今月期はプラス域に好転。一方で仕入単価は高止まりしていたもののここ数ヶ月のDI値は回復傾向にあったが、今月期は再び悪化。その影響もあったか、採算DIはマイナス域に転じた。

<柏崎商工会議所に寄せられた声>

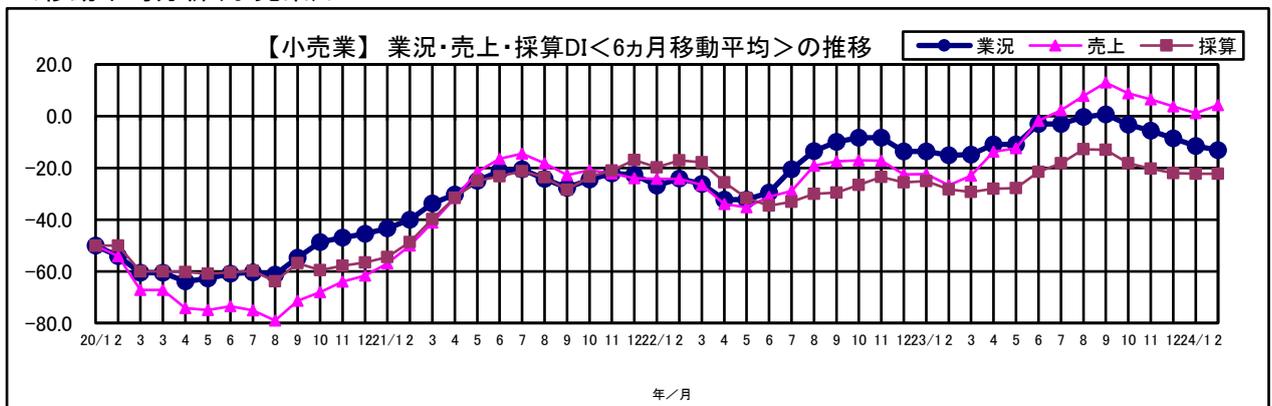
- ・先行き(4月より)の仕入金額が値上げの話が多い。
- ・来年度、取引先の年間営業日数が減少する(連休も複数ある)ため、スケジュール調整が必要となりそう。

【小売業】

項目		23年9月	23年10月	23年11月	23年12月	24年1月	24年2月	先行き見通し 3月～5月
業況	柏崎	▲ 12.5	▲ 15.4	▲ 14.3	▲ 9.1	▲ 18.2	▲ 9.1	0.0
	全国	▲ 9.2	▲ 16.0	▲ 18.7	▲ 20.8	▲ 16.2	▲ 14.4	▲ 16.0
売上	柏崎	12.5	0.0	▲ 14.3	9.1	0.0	18.2	0.0
	全国	1.7	1.0	▲ 4.2	▲ 6.1	▲ 7.0	▲ 3.1	▲ 4.4
採算	柏崎	▲ 37.5	▲ 30.8	▲ 28.6	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 9.1
	全国	▲ 15.7	▲ 14.8	▲ 18.7	▲ 16.1	▲ 14.7	▲ 15.2	▲ 17.0
資金繰り	柏崎	▲ 25.0	▲ 30.8	▲ 28.6	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 18.2
	全国	▲ 16.7	▲ 20.7	▲ 17.9	▲ 17.8	▲ 16.9	▲ 13.7	▲ 14.7
仕入単価	柏崎	▲ 62.5	▲ 69.2	▲ 78.6	▲ 63.6	▲ 45.5	▲ 81.8	▲ 72.7
	全国	▲ 73.9	▲ 70.7	▲ 72.2	▲ 71.4	▲ 64.9	▲ 67.0	▲ 58.2
従業員	柏崎	25.0	23.1	21.4	27.3	27.3	45.5	45.5
	全国							20.6
資金借入難易感	柏崎	▲ 25.0	▲ 23.1	▲ 21.4	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 9.1



<移動平均分析(小売業)>



【全国小売業の動向】

インバウンド需要の回復や暖冬による人流の増加で、売上が引き続き好調な百貨店がけん引し、改善。一方、物価の高止まりで生活必需品以外の買い控えは継続しており、専門店などでは売上が伸び悩む二極化の状態が続いている。

<日本商工会議所に寄せられた声>

- ・「外国人観光客による消費は拡大しており、売上は好調が続いている。国内需要は足元では力強さを欠いているものの、来年度の賃上げの状況によって消費拡大が喚起されることで、好循環が生まれることを期待したい」(百貨店)
- ・「物価高で消費者に購買意欲が無い中、電気代等のコスト増が重荷である。今後、輸送費も上昇するため、一層苦しい状況が見込まれる」(酒類小売業)

【柏崎小売業の動向】

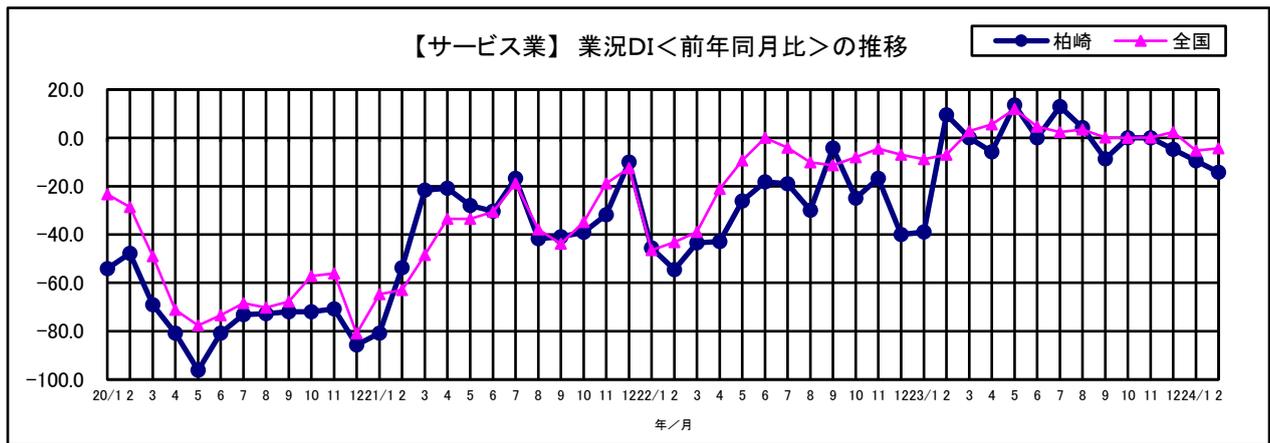
売上DIはプラス域に好転。しかしながら、仕入単価DIの悪化で、採算DIは前月期から横ばいとなった。従業員の欠勤により営業への影響もあると声も聞かれ、季節柄、体調不良による欠勤が増える事もあり、従業員は不足寄りの数値となった。(従業員DIは現状の調査)

<柏崎商工会議所に寄せられた声>

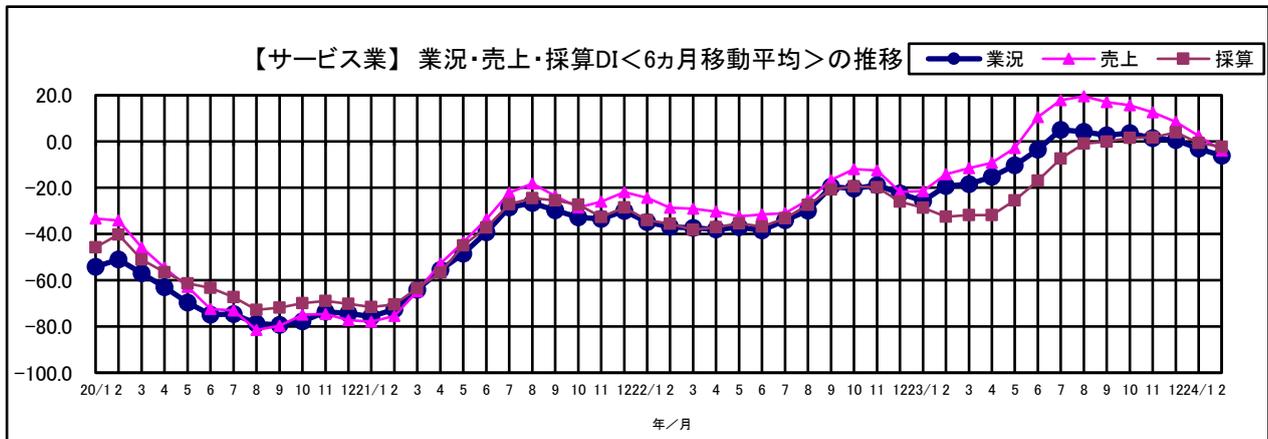
- ・2月は従業員の体調不良が続き、店を急遽閉めることもあったので自分含め体調管理に気を付ける必要がある。

【サービス業】

項目		23年9月	23年10月	23年11月	23年12月	24年1月	24年2月	先行き見通し 3月～5月
業況	柏崎	▲ 8.7	0.0	0.0	▲ 4.8	▲ 9.5	▲ 14.3	▲ 4.8
	全国	0.2	0.0	0.2	2.4	▲ 5.2	▲ 4.4	▲ 4.8
売上	柏崎	8.7	▲ 4.3	▲ 4.8	0.0	▲ 14.3	▲ 9.5	▲ 9.5
	全国	16.6	16.8	12.9	14.3	10.3	8.3	4.8
採算	柏崎	0.0	▲ 4.3	9.5	9.5	▲ 14.3	▲ 14.3	▲ 9.5
	全国	▲ 4.4	▲ 10.0	▲ 5.1	▲ 4.9	▲ 7.6	▲ 6.4	▲ 5.4
資金繰り	柏崎	4.3	▲ 4.3	0.0	9.5	▲ 4.8	▲ 9.5	▲ 9.5
	全国	▲ 9.9	▲ 10.8	▲ 9.5	▲ 6.5	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 8.1
仕入単価	柏崎	▲ 78.3	▲ 73.9	▲ 57.1	▲ 71.4	▲ 81.0	▲ 76.2	▲ 57.1
	全国	▲ 67.9	▲ 65.7	▲ 62.6	▲ 63.3	▲ 61.4	▲ 59.3	▲ 46.9
従業員	柏崎	4.3	17.4	19.0	19.0	4.8	19.0	38.1
	全国							28.2
資金借入難易感	柏崎	4.3	0.0	▲ 9.5	4.8	▲ 4.8	0.0	4.8



<移動平均分析(サービス業)>



【全国サービス業の動向】

国内観光需要やインバウンド回復の恩恵を受けた飲食・宿泊業を中心に回復基調にあるものの、電気代や人件費の高騰、深刻な人手不足による需要増への対応が追い付かず、ほぼ横ばいにとどまる。

<日本商工会議所に寄せられた声>

- ・「売上は順調に回復傾向にあり、年度末の歓送迎会の予約も順次入っている。一方で、電気代の高止まりは依然として重荷となっている。また、人手不足は深刻な状況が続いており、需要増に対応が追い付かない状態が続いている」(飲食店)
- ・「荷動きが悪い中、4月の働き方改革関連法が施行予定であり、物流が増加したときに対応できるか不安である」(運送業)

【柏崎サービス業の動向】

各項目前月比で大きな数値の変動はないものの、電気代の高止まりの影響もあるだろうか、仕入単価DIも依然「悪化」の回答が多くなっている。移動平均分析では、下降気味に推移している。